

平成16年度東北海区海況予報 第4号

平成16年12月10日

独立行政法人水産総合研究センター 東北区水産研究所

<<今後の見通し(2004年12月～2005年2月)>>

- (1)近海の黒潮の北限位置は、平年並(36°20'N～37°20'N)で推移する。
- (2)黒潮系暖水の北限位置は、近海で南寄りに推移する。
- (3)三陸沖の暖水域は持続する。
- (4)親潮第1分枝の張り出しは、平年並(39°30'N付近まで)で推移する。
- (5)親潮第2分枝の張り出しは、平年並(39°30'N付近まで)で推移する。
- (6)津軽暖流の下北半島東方への張り出しは、平年並～やや強勢(142°30'E付近まで)で推移する。

(海況の経過(2004年9月～2004年11月)の特徴)

- (1)近海の黒潮の北限位置は、やや南偏～平年並で推移した。
- (2)三陸沖の暖水塊および常磐沖の暖水塊は、11月以降構造が不明瞭になり、暖水域となった。
- (3)親潮第1分枝の南限は、9月南偏(39°20'N)から、11月平年並(41°10'N)になった。
- (4)親潮第2分枝の南限は、平年並(39°40'N～39°50'N)で推移した。
- (5)表面水温は、東北海区で9月平年より低めであったが、10月以降平年並から高めで推移した。

(現況(2004年11月下旬～12月上旬)の特徴)

- (1)近海の黒潮の北限位置は、平年並*。
- (2)暖水域が、三陸沖約200kmにある。
- (3)冷水域が、三陸南部沖にある。
- (4)親潮第1分枝の張り出しは、南偏(40°20'N)であるが、かなり東方にある。
- (5)津軽暖流の下北半島東方への張り出しは、強勢(143°20'E)である。

注：現況および今後の見通しは図を参照のこと。

「近海」は146°E以西、「沖合」は146°E以东を表す。

* 表面水温・人工衛星情報による